JAPAN SCIENCE FICTION CONVENTION #59 @FUKUSHIMA

PROGRESS REPORT Vol.006

2021.03.13-14

FUKUSHIMA Bandai Atami Onsen
Hotel HANANOYU

第59回日本SF大会
F-CON エフコン

第51回星雲賞発表！

F-CON実行委員会

illustration : MIMIZU

第51回星雲賞受賞作一覧

星雲賞は、2020年8月22日に生放送で発表いたしました。受賞コメントなどの詳細は、【大会公式サイト】をぜひご覧ください。発表動画は【YouTube F-CONチャンネル】にてご視聴いただくことが可能です。
受賞の言葉は放送用に頂きましたが、放送に出演いただいた菅浩江さんと大森望さんは動画ならではのコメントがございますので、動画のほうもご覧いただければ幸いです。

日本長編部門（小説）

天冥の標

シリーズ全10巻（17冊）完結
小川一水・著
出版社：早川書房

日本短編部門（小説）

不見の月

『不見の月 博物館惑星II』収録
菅浩江・著
出版社：早川書房

海外長編部門（小説）

三体

劉慈欣・著
立原透耶・監修
大森望、光吉さくら、ワン・チャイ・訳
出版社：早川書房

海外短編部門（小説）

不気味の谷

ハヤカワ文庫SF『ビット・プレイヤー』収録
グレッグ・イーガン・著
山岸真・訳
出版社：早川書房

メディア部門

彼方のアストラ

監督：安藤正臣
原作：篠原健太
制作：Lerche
© 篠原健太／集英社・彼方のアストラ製作委員会

コミック部門（同票）

バビロンまでは何光年？

道満晴明・著
出版社：秋田書店

ニンジャバットマン

著者=久正人
キャラクター・監修= DC COMICS
出版社：株式会社ヒーローズ
TM & © 2020 DC Comics. All Rights Reserved.

アート部門

シライシユウコ

https://uli.hanabie.com

ノンフィクション部門

NHK 100分 de 名著『小松左京スペシャル「神」なき時代の神話』

著者：宮崎哲弥
出版社：NHK出版

自由部門

史上初のブラックホールの撮影

受賞理由：撮影に成功したのは今回が初めて
受賞者：EHT（Event Horizon Telescope）プロジェクト

EHT Collaboration

F-CON ESSAY 005

SF大会に寄せたエッセイ

振り返ると、コロナは日常に大きな変化をもたらした。

小川一水

これを書いているいま、九月二日の午前五時半です。場所は市内の別の場所に借りたワンルームのアパートで、月の家賃は三万六千円です。どんな環境かと心配しながらやってきましたが、隣のおじさんが日々妙にきつい香辛料の匂いを換気扇から垂れ流すのと、夕方に向かいのマンションの住人たちが軒先に折り畳み椅子を並べて、何語がわからない言葉でにぎやかにおしゃべりするのを除けば、気になることは何もなく、一人で集中して文章を書けています。

この部屋を借りてから、そろそろ五ヵ月目になります。今年の三月まではこういう部屋は不要でした。仕事は常にファミレスでやっていました。レシートを調べたところでは、私は去年までの二十年近く、年間二百日あまりもファミレスに通って、そこで仕事をしていました。

しかし、この四ヵ月のあいだ、わずか三回しかファミレスへ行っていません。

まあ、今年に入ってから、ファミレスの深夜営業が次々になくなる流れになっており、もともと深夜の仕事はやめていこうと思っていたのですが、それにしても、二十年来の大変化がここで起こってしまいました。実のところこのアパートからはまだ、お金をもらえる小説が一本も出荷されておらず、会計上は赤字が続いています。しかし、毎日ファミレスに何時間も居座る形態で仕事をすることは、周りのためにも自分のためにも、さすがにやるわけにはいかないので、この環境でものを産み出すしかありません。

こうなったせいでわかるのは、ファミレスというのは孤独と観光が両立できる絶妙の環境だったということです。家族連れだけでなく、さまざまな興味深い人々がいました。昼下がりに訪れて職場の人の悪口を立て板に水でまくし立てる三人組のパートの女性、二人対一人の着席フォーメーションでカモを捉まえようとするマルチ商法の勧誘者、テーブルをドリンクバーと問題集とノートで埋めてひたすらスマホをフリックしている高校生たち、出勤前にモーニングをつつきながら、響きのいい方言全開で昨日のパチンコの話をして盛り上がっている、工場経営者らしきお爺さんたち、なんだかわからない試合帰りらしいスポーツウェアの八人組、なんだかわからないグラサンの男性と美女の取り合わせ、その他、ひと目では事情をうかがい知れない一見or常連の人々……。向こうからは話しかけてこないけれど会話の断片ぐらいは届く、そういった人々に、興味深い横顔をずいぶん見せてもらったものです。

それが遠くなってしまった。戻って来るかどうかわからない。

思えば、私があの人たちを失ったのと同様に、もしくはそれ以上に、あの人たちも自分たちが過ごせる時間を失ってしまったわけです。私が一日ファミレスを休んでも、年間二百回のうちの一回でしかないが、あの人たちにとっては週に一度、月に一度といった楽しみだったのかもしれないのに。

これは、改めて認識しますが、とても大きな変化ですね。本当に……。

今後ワクチンが実用化されたとしても、再びあのソファで長居できる日が戻ってくるのかどうか。わかりません。暮らしは変わっていくのだということを、こんなところで実感しています。

F-CON ESSAY 006

個性豊かな福島の酒【第三回】

海の男酒　磐城壽の鈴木酒造店（前編）

坂本博紀

みなさまご無沙汰しています。「浜通りの地酒を楽しむ会」の坂本博紀です。

一向に始まらないお酒の紹介にみなさんやきもきさせて申し訳ありません……といいたいところですが、そこまで興味がある方ばかりではないかもしれません。

でも本当に美味しいお酒の楽しみ方の一つに〝作り手を知る〟ということが一番てっとり早いのではないかと僕は考えております。

どんな酒蔵にも風土に合わせた特徴をもっていてその歴史がつむいできたものはその地域の歴史や食文化に大きな影響力を持っているものです。なかなかふらりと旅先で訪れてもそんな深くまで知る機会はないかもしれませんが、日本酒というちょっとディープにもぐれる片道切符を持ってその地域と、お酒の事を知ってもらえれば幸いです。

請戸の海の男酒

さて今回紹介する「鈴木酒造店」と、そこの「磐城壽（いわきことぶき）」という銘柄、ルーツは双葉郡浪江町請戸（ふたばぐんなみえまちうけど）の港にあります。ここで回船問屋を営んでいて、その運んでいる米で江戸末期より酒造りをし始めたのがきっかけで、海や船、港の文化とは大変近い関係にあるお酒です。どれぐらい近いかといいますと、この請戸で交わされる船乗り同士の挨拶はまず「酒になったが？」というぐらいで要は「大漁になって祝い酒は出たか？」という意味になります。

そんな海の男たちの文化と密接に関わっていた「鈴木酒造店」ですが２０１１年の東日本大震災で蔵と家、出荷を待つ酒など全てのものを失ってしまいました。幸い蔵の人たちは無事でしたが地区では154人もの方が亡くなりました。そして原発事故で避難を余儀なくされ、その避難の道中でなんとか請戸のシンボルである「磐城壽」の酒造りを再開して欲しいと言われ、なけなしの小銭を渡されるということもありました。それぐらい、請戸という地区の重要なアイデンティティとして愛される酒でした。そこで蔵人の鈴木大介さんはなんとか新しい拠点を見つけて酒造りを再開しようと

2019年1月の請戸港出初式

奔走します。

そうして見つかったのが山形県長井市にある東洋酒造という酒蔵だったのです。

山形県での酒造り

長井市の東洋酒造は後継者がいないため廃業を考えていました。そこに新しい、自分の望んだ酒造りができる拠点を探していた鈴木大介さんは理想的な導線がイメージできる東洋酒造を選びました。東洋酒造の社長からは酒蔵を引き継ぐにあたって主要銘柄である「一生幸福（いっしょうこうふく）」を残して欲しいと言われました。大介さんはその申し出を快く受け入れるとともに、こんな境遇の自分が「磐城壽」と「一生幸福」という祝福の名を冠したお酒を造るのは皮肉のような気がしたそうです。

しかしそういった境遇にあって酒の持つ人と人をつなげる力や、絆が循環していく様子を肌で感じ取り、よりいっそう酒というものが持っている根源的な部分が大事だと思うようになりました。

人類の革新は日本酒から!?

そんな人と人のつながりを肌で感じるニュータイプのような話が現実感のある感じでビビッときたことがありました。大介さんと一緒に呑んでいた時、カラオケのある店で大介さんが『永遠にアムロ』を歌いました。そのあとに『機動戦士ガンダム』はリアルタイム世代で、故郷を追われて家族で違う土地に避難している境遇をアムロとホワイトベースのクルーと重ねているということを語ってくれました。

『永遠にアムロ』の歌詞を思い出して欲しいのですがそこに歌われる故郷や少年時代のことがなんとなく話を聞いている僕の頭の中に入ってきて、ガンダムに乗って孤独に戦う運命になってしまったそんなアムロの気持ちとシンクロするような思いがしました。

……まあちょっと大げさですが少年時代の思い出って妙にシンパシーを感じることありますよね？　請戸は浪江町の中心部から自転車でも30分かかるぐらい離れているのですが、その街なかのおもちゃ屋さんに決まってガンプラが入荷する日に行っても請戸の子供たちはジオンのMSのプラモしか買えなかったとかそんな話も共感する人はいるのではないでしょうか？

次回は「海の男酒　磐城壽の鈴木酒造店（中編）」です。

神社で振舞われる磐城壽の御神酒

震災前2010年10月の鈴木酒造店

バーチャルワールドコンの技術解説

CoNZealand
78th World Science Fiction Convention
29 July - 2 August, 2020
Wellington New Zealand

リポート：池田　武（CoNZealand Japan Agent／不気味社電網研究所）

■ 概 要

7月29日から8月2日まで開催されたCoNZealandは、インターネットを使用したバーチャル開催となりました。私の本職は通信技術者で、最近はセキュリティ関連の仕事を重点的に行っており、これの実現にあたり技術的に少しお手伝いをしたので、それについて解説します。

もともと私は、CoNZealandの日本での広報を担当するエージェントをしていました。大会がバーチャル開催に変更されてしばらくした5月中旬、企画部門からOAuth2,0の専門家を募集するという内容がスタッフ連絡に流れました。

More volunteers needed for Virtual WorldCon
Thank you again to everyone who has been in touch with their amazing skills to help us with this unprecedented undertaking. The Division Heads have been in touch with more specific requests for volunteers:
Programme Division
We are urgently looking for experts in OAuth 2.0.
※スタッフ宛email連絡の抜粋

“urgently”という切羽詰まった表現とピンポイントで特定技術を名指ししているということから、これはヤバいんじゃないかと思って参加することにしました。

最初にこの連絡を受けた時、なぜこの話がIT部門からではなく企画部門から流れてきたのか大変不思議でした。話を聞いてみると、大会参加者がタイムテーブルをクリックして会議に参加できるシステムを作りたいけれど、それには外部システムとの連携が必要で、そのための手順であるOAuth2.0を知っている人がいないということが理由でした。

ここで、OAuth2.0について簡単に説明します。詳細は端折っていますので、技術的に正確な情報は専門書などで確認してください。

OAuth2.0というのは私の本職である通信セキュリティ分野において認証認可のうち認可をするためのプロトコル（通信手順）です。認証（Authentication）というのは、利用者が誰であるかを特定することで、認可（Authorization）というのは特定された人に許可を与えることです。

古典的なシステムでは、サービスごとに認証認可の仕組みとIDを持っていて、利用サービスが変わるごとにログインが必要でしたが、最近のシステムでは認証と認可を分離することにより、自社のECサイトにFacebookでログインして通販をするといったシングルサインオンが可能になっています。このように複数システム間でIDの連携をするための手順の一つがOAuth2.0です。

OAuth2.0は、認可の仕組みですから認証にはどのような方法を使っても構いません。認証部分は連携先のシステムに任されています。シングルサインオンの方法の一つとして、ブラウザから別システムのログイン画面にリダイレクトして、その後元の画面に戻るという方法がありますが、この連携手順を標準化したものがOAuth2.0であり、ログイン画面が認証部分です。

この連携先をIdP（アイデンティティプロバイダ）と呼び、それを利用するサービスをSP（サービスプロバイダ）と呼びます。

■ 要 求 と 仕 様

セキュリティには機密性・完全性・可用性の3つの要素があります。これを、インターネットを使ったイベントにあてはめてみます。

【機密性】
要求：参加費を支払った参加者以外にイベントの内容が漏れないこと。
仕様：通信を暗号化し、接続に必要な情報を安全に参加者に引き渡す。

【完全性】
要求：参加費を支払っていない人が参加者に成りすまして参加できないこと。
仕様：参加者全員に対して、漏れなく重複なく接続用アカウントを発行する。

【可用性】
要求：参加費を支払った参加者がイベントに確実に参加できること。
仕様：サーバの接続数を十分に確保する。初心者にも利用しやすい会議ツールを使用する。タイムテーブルから会議室への接続が容易なものとする。

■ 品 質 目 標 設 定

仕様を決めたら、それに対して品質目標を設定します。

1. 機密性の面から、個々のミーティングにアクセスするURLを機密情報として保護する。
2. 完全性の面から、ミーティングにアクセスするURLは個人ご

とにユニークになることが望ましい。参加者全員に接続用アカウントを発行することを検討。検討開始時点で実行委員会が持っている情報の中には個人を一意に識別できるものはない。電子メールアドレスがそれに近いが不完全。

3. 可用性の面から会議ツールは、一つの会議室に充分な参加者が接続することが可能で、会議室を作成するアカウントを同時並行プログラム数だけ確保することが可能なものとする。
4. 可用性の面から、すでにある企画管理システムGrenadineと親和性が高いものとする。

■全体設計

品質目標を設定したらシステムを設計します。

1. 会議システムは、利用者が多く実績のあるzoomを使用することにした。
2. 当初、Grenadine にID管理機能を持たせることを検討していたが、大会の参加者DBとの連携ができていないことやパスワードなどを安全に仕組みを自前で構築することは困難であることから、これを一から作り込むのは不可能であると判断した。
3. ID管理を容易にできて、他のシステムとの連携実績が多く、安価に多機能が利用できるDiscordをIdPとして利用し、GrenadineをSPとすることとした。
4. 実行委員会スタッフと出演者のみがアクセスできるGrenadineに、一般参加者がアクセスできる機能を追加し、Discordを利用してログインできるよう機能追加することとした。
5. 参加者には全員にDiscordのIDを取得することと、DiscordとGrenadineを連携するシステムに大会開始前にアクセスすることを要請した。
6. 大会参加者は、事前に連携済みのDiscordでGrenadineにログインする。
7. 連携システムにはDiscordよりメールアドレスが通知される。
8. 該当のメールアドレスでの参加登録が1名の場合、その情報は正しいものとしてインターネットとは接続されていない参加者管理データベースから個人情報を除いたバッジネームのみが連携システムに自動的に登録される。
9. 該当のメールアドレスでの参加登録が0件か複数件の場合、スタッフによる手動対応(人海戦術)で正しいバッジネームを連携システムに登録した。
10. 正しい参加者の場合はブラウザのCookieにトークンを登録する。(これがうまくいっていなかったようで、何度も人海戦術に回された人がいたらしい)
11. 当日はGrenadineのタイムテーブルの中にzoomミーティングへのアクセス用URLを表示する。
12. アクセス用URLは連携システムに登録されている参加者毎に別々のものが表示され、同じURLでの同時接続はできない。←私が手伝ったのはココです。

■詳細設計(私が手伝った部分のみ)

参加者個人ごとに対して、ユニークなアクセス用URLを表示するための設計を手伝いました。各システムはOAuth2.0を使用して相互に連携することとしていましたが、zoomとGrenadineとの間で連携ができていませんでした。これに対して助言できる人を探していたのが先に書いたOAuth2.0技術者募集でした。

当初考えられていたのは、zoomをSPとしてGluu経由でDiscordをIdPとする方法でした。しかし、zoomのOAuth2.0連携機能は、ビジネスアカウント(ID一つ毎に月額十数ドル)を前提としたものであり、約4,000人の参加者が二ヶ月(7月29日～8月2日の5日間でも月をまたがるので二ヶ月扱い)利用することを考えると現実的ではありません。

そこで、会議室を管理するアカウントを最大同時並行企画数だけ用意すればよく、参加者はzoomのアカウントを持つ必要がない設計を行うよう助言しました。

具体的にはzoomの持つ参加者事前登録機能を使用し、メールアドレスと名前を事前に登録することにより専用のURLを発行する仕組みを利用しています。CoNZealandに参加された方は、zoomのリンクをクリックして参加すると自動的にCoNZealandのバッジネームが表示されていたことに気が付いたかもしれませんが、これはその仕組みを利用していたためです。

技術的な仕様は、zoom公式サイトの以下のURL(英文)をご参照ください。

https://marketplace.zoom.us/docs/api-reference/zoom-api/meetings/meetingregistrantcreate

■総括

結局、OAuth2.0の専門家としての仕事は、zoomのOAuth2.0連携機能を使う必要がないという指摘をしたことでした。

初めてのバーチャルワールドコンの根幹であるID連携について自分の本職の技術を役立てることが出来たことは非常に有意義な経験でした。現在zoomを利用した中小規模の有料イベントでは、正当な参加者かどうかの判断を人手に頼っていることが多いですが、これを解決するための一助になるのではないかと考えます。

■補足

京都SFフェスティバルも、Discordとzoomで実施されましたが、大きな違いは京都SFフェスティバルの場合は全員が同じURLでzoomにアクセスしていたことです。無料イベントであれば、これでよいと思いますが、有料イベントでこの方法を使うためにはまだ課題があると思います。

大会お申し込みはお急ぎください!

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、会場レイアウトや、企画に使用する部屋割について配慮する必要が出てきました。

今後の状況によっては、ZOOM等を利用して企画を有料配信することも検討する必要があります。部屋の換気や消毒を鑑みると、企画のコマ数にも制限が発生するかもしれません。

7月現在、日本コンベンション協会のガイドラインでは、施設収容人数の半分以下が、参加者数の上限となっております。もしこの規制が来年3月まで続いた場合、本大会の定員についても、申込人数が会場「華の湯」のキャパシティの半分に達した時点で受付を締切らざるを得ない可能性があります。

自主企画絶賛募集中!

つきましては、第二回締切りを12月末に設定させていただきます。

公式メール、応募フォームからあなたが考える自主企画をご提案下さい。それぞれの提案について実行委員会にて精査のうえ、協力して進めていければと思います。

内容・企画に必要なゲストご招待のご相談などは、お申し込みのあと、実行委員会とご相談の手筈となります。

皆様からのご応募、ご提案をお待ちしております。

ご応募は、下記のフォームをコピーしてメール頂くか、公式サイトの応募フォームから送信して下さい。

応募フォーム

□企画名[　　]
□企画内容[　　]
□企画責任者[　　]
□Eメールアドレス[　　@　　]
□電話番号[　　]
□参加ゲストの有無　ゲスト有りの場合ゲスト名[　　]
□参加予想人数[　　]名
□場所の希望[会議室／座敷(大広間含む)／自分の部屋]
□質問[　　]

公式企画

基調講演

SFから見る福島の未来
ZABADAKライブ
偽科学シンポジウム
加藤直之のVRでお絵描き&VR作品鑑賞会
乗用ドローン試乗展示会
統合医療とSF／名作SFと現代科学
大規模津波災害にSF的防衛対策を考えてみた。
オンラインゲーム企画／VRの今
テルミンvsテスラコイルギターバトル
話題のアニメ監督対談「どんなSFに影響を受けたか」
SFアニメ上映会（作品選定中）
ラノベ作家企画
「軌道エレベーター」プレゼンテーション

※企画は検討中のものです。

これからのイベントについて

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策のためほとんどのイベントが中止や延期、オンライン開催になっていますので一般告知が弱くなっていますが、F-CONは対策を講じてリアル開催に向けて準備中です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、先日京都で行われた「京まふ2020」にて告知や大会申し込みなども行いましたが今後の参加予定です。

雲魂

11月7日（土）オンライン
雲魂32開催延期にともない、過去参加者対象のクラウドコンを開催予定。
自己紹介時に「F-CON」の告知を行います。ご参加の方はどうぞよろしくお願いいたします。
※今年の雲魂は参加者の公募は行われません

COMIC1☆17

10月18日(日)東京ビッグサイト南3･4ホール
ブースナンバー「F01a 日本SF大会」
日本SF大会・F-CONとSF60の合体ブースで参加します。
https://www.comic1.jp/

こんなイベントがあるよ。ここで告知できるよ。私の周りに参加したい人がいるよ。ということがありましたら実行委員会までご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

ボランティアスタッフ募集

❶企画スタッフ（参加者から募集）

企画段階から協力できるかた。
対外交渉もしていただく可能性があります（協力企業との連絡など）。
LINEでの連絡やLINE通話会議に参加できることが望ましい。

❷当日スタッフ（参加者から募集）

当日の機材準備や受付など、メインスタッフの指示にしたがって動いてくださるかた。
一日目のみ、二日目のみ、両日とも、などのご希望に沿います。
宿泊されるかたは夜の企画もお手伝いいただきます。

❹現地スタッフ

大会に参加はしないけれど、当日日中のスタッフとしてご協力いただけるかた。
宿泊や夕食はご提供できませんので、夕食前には作業終了となります（時間的に中高生もOK）。
一日目のみ、二日目のみ、両日とも、などのご希望に沿います。

❹前日設営スタッフ

受付キットの作成や、会場の設営など準備のお手伝い。
前泊される方はお手伝いいただけると助かります。

その他のご説明

① 大会を円滑に運営することがスタッフの役目ですので、ご希望の企画を見られるとは限りません。シフトを組む際にはなるべくご要望を叶えたいとは思っておりますが、どうしても見たい企画があるのでしたら、「その企画の担当をする」と名乗りを上げる、または個人対個人で直接シフトを交代する（この場合、必ずメインスタッフに申し出てください）などの工夫をお願いします。

② 得意なこと（ステージ進行ができる、対企業で丁寧な事務応対ができる、機材のセッティングができる、Excelなどでデータ管理ができる）等々ありましたら、どうかお知らせくださいませ。

③ 当日スタッフ、現地スタッフに関しては、イベント開催未経験者でも充分にご活躍いただけます。例を挙げれば、「受付をするので、これとこれをチェックしてこれを渡す」、「いまからこのゲストを企画部屋まで誘導する」「この部屋にこの機材が揃っているかチェックする」などです。

以上を踏まえまして、これまでご登録いただいていた種別を変更される場合は、大会メールsffcon@gmail.comまで（IDのわかるかたはそれも添えて）ご連絡ください。

なお、現状ではメインスタッフ（直接運営する幹部）間で各種の調整をおこなっております。
企画スタッフの方々には、のちほど詳しい役割等をご連絡いたします。
当日・現地スタッフのみなさんは、具体的なお仕事内容が決まるのがまだ先になりますので、それまで楽しみにお待ちくださいませ。

みなさんのお力で福島を、そしてF-CONを盛り上げたいと思っております。
ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

ご応募は、下記のフォームをコピーしてメール頂くか、公式サイトの応募フォームから送信して下さい。

応募フォーム

□氏名［　　］　□年齢［　　］
□住所［　　］
□Eメールアドレス［　　@　　］
□電話番号［　　］
□希望するスタッフの種類
　❶ 企画スタッフ（大会参加者で、準備段階から企画にかかわるお仕事をしていただきます。場合によっては対外交渉をしていただく可能性もあります）
　❷ 当日スタッフ（大会参加者で、当日の受付や機材位置など簡単なお仕事を指示に従ってしていただきます）
　❸ 現地スタッフ（大会には参加せず、夕食前には作業終了となる簡単なお仕事を指示に従ってしていただきます）
　❹ 前日設営スタッフ
□当日スタッフ・現地スタッフの協力日
　① 1日目【3/13（土）】　② 2日目【3/14（日）】　③ 2日間共【3/13（土）、14（日）】
□質問［　　］

大会概要

開催日　2021年（令和3年）3月13日（土）～14日（日）
前泊3月12日（金）、後泊3月14日（日）

開催場所　〒963-1309 福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60「ホテル 華の湯」
http://www.hotelhananoyu.jp/

大会形式　1泊2日の完全合宿型ですが、当日の日帰り参加も可能です。
改装したばかりの豪華な会場を、ホール・会議室・居酒屋までふんだんに使い、数多くの企画を提供します。また、企画によっては、各部屋や野外が会場になります。

主催　第59回日本SF大会「F-CON」実行委員会　**特別協力**　木下グループ　**協力**　ホテル 華の湯

前泊・後泊　「ホテル華の湯」にご宿泊いただく前泊後泊企画があります。

タイムスケジュール（調整中）

3月13日（土）大会1日目

12時頃	プレイベント開始
13時	宿泊参加者受付開始
14時	当日参加者受付開始
15時	開会式
16時	星雲賞受賞式
16時以降	各種シンポジウム企画を開始
	ディーラーズルーム、展示企画開始
	公式企画、自主企画等開始
18時	夕食開始（時間内で随時）
18時以降	夜の部として各種企画開始
21時	当日参加者退場
	深夜にかけて宿泊参加者による
	各種企画が多数開催されます

3月14日（日）・大会2日目

6時頃	プレイベント開始
7時	朝食（時間内で随時）
9時以降	企画開始・当日参加者受付開始
10時より	各種シンポジウム企画開始
13時より	メインホールにてメイン企画
15時	閉会式

後泊オプショナルツアー（有料）が追加決定！

東日本大震災から10年の節目と、F-CONの開催日程が時期的に重なることも踏まえ、従来より、復興関連施設を中心に企画しておりました。この度、後泊でも復興関連施設のご見学をしていただけることになりましたので、現時点での御報告をいたします。こちらは参加申込受付中です！

（※各オプショナルツアーは、前泊または後泊に申込の方のみご利用いただけます）

前泊オプショナルツアー（有料）

【重要】前泊オプショナルツアーは全面的に申込を締め切りました

Aコース：復興関連施設・福島第一原子力発電所見学は定員に達しました。
Bコース：ワールドロボットフェスは、大会日程変更に伴い該当イベントへの参加が不可能になりました。該当のみなさまには、すでに個別メールを差し上げております。
以下は、Aコースをお申し込みの方への暫定のタイムスケジュールになります。

3月12日（金）

9時	郡山駅　出発
9時45分	福島空港　経由
11時	いわき駅　経由
11時45分	Jビレッジ視察＋昼食
12時45分	出発
13時30分	廃炉関連施設　着 ～福島第一原子力発電所視察
17時	終了予定～移動
18時30分	ホテル華の湯　着

※諸事情により、変更の可能性があります。

後泊オプショナルツアー（有料）

後泊オプショナルツアーが新設！　A・Bコースにお申込みいただけます！

Aコース

復興関連施設・福島第一原子力発電所見学の後泊ツアーを新設のため参加者を募集いたします。
（※応募者多数の場合、抽選となります）

3月15日（月）

7時30分	ホテル華の湯　出発
9時30分	廃炉関連施設　着 ～福島第一原子力発電所視察
12時30分	移動
14時30分	須賀川特撮アーカイブセンター、 もしくは福島さくら遊学舎（調整中）
16時	移動
16時30分	郡山駅　着
17時15分	福島空港　着

※諸事情により、変更の可能性があります。

Bコース

福島の観光スポットと私たちの大好きな特撮やアニメ関連施設を見学します。
（※応募者多数の場合は抽選となります）

3月15日（月）

7時30分	ホテル華の湯　出発
9時	鶴ヶ城　着
10時30分	移動
11時	白虎隊記念館・飯盛山　着 （昼休憩含む）
13時	移動
14時30分	須賀川特撮アーカイブセンター、 もしくは福島さくら遊学舎（調整中）
16時	移動
16時30分	郡山駅　着
17時15分	福島空港　着

※諸事情により、変更の可能性があります。

※オプショナルツアーに参加せず、ゆっくりされたい皆さまには、前泊・後泊のみの申込も受付させていただきます。
また、既にオプショナルツアーの前泊・後泊をお申込の場合は、そのままスライドさせていただきます。

参加料金と申込ガイド

参加費一覧

宿泊参加費			
参加区分	料金(税込)	星雲賞投票権	会場入場
大人(18歳以上)	¥30,000	○	○
中人(中•高生)	¥20,000	○	○
小人(小学生)	¥12,000	○	○
幼児(3歳以上)	¥8,000	×	○
乳児(2歳)施設使用料(食事なし)	¥3,300	×	○
2歳未満(食事なし)	無料	×	○
介助者•ヘルパー	¥16,000	×	○

前泊(12日)／後泊(14日)費(共通)	
参加区分	料金(税込)
大人(中学生以上)	各¥15,000
小人(小学生)	各¥10,000
幼児(3歳以上)	各¥7,500
乳児(2歳)施設使用料(食事なし)	各¥3,300
2歳未満(食事なし)	無料
介助者•ヘルパー	各¥15,000

オプショナルツアー参加費	
前泊オプショナルツアー(12日)	¥5,000
後泊オプショナルツアー(15日)	¥5,000

日帰り参加費					
	参加区分	日帰り両日料金(税込)	日帰り一日料金(税込)	星雲賞投票権	会場入場
事前申し込み	大人(18歳以上)	¥12,000	¥6,500	○	○
	中人(中•高生)	¥3,000	¥1,500	○	○
	小人(小学生)	無料	無料	○	○
	未就学児	無料	無料	×	○
	介助者•ヘルパー	無料	無料	×	○
当日券	大人(18歳以上)	¥13,000	¥7,000	×	○
	中人(中•高生)	¥3,500	¥2,000	×	○
	小人(小学生)	無料	無料	×	○
	未就学児	無料	無料	×	○
	介助者•ヘルパー	無料	無料	×	○

登録参加費	¥4,000	○	×

【日帰り参加の方の入場可能時間】

3月13日（土）15時～21時（14時受付開始）
3月14日（日）9時～15時（9時受付～閉会式終了まで）

※日帰り料金を改定致しました。
既に申込された方につきましては返金処理を致します。

○ 介助者・ヘルパーは障害者手帳提示をお願いします。要介助者一名につき、一名までが原則です。
○ 登録参加は、大会自体には参加できません。プログレスレポートや当日の配布物の受け取り・星雲賞の投票資格は得られます。
○ ゲストの皆さんには別途案内をいたします。

お食事について

【宿泊参加の方】 1日目（13日）の夕食（ブッフェ形式）と、2日目（14日）の朝食が付きます。
【当日参加の方】 両日とも、お食事は付きません。ご希望の方には参加料と別料金にて提供致します。
1日目（13日）の夕食ブッフェチケット：4,000円（数量限定）
または、館内食事処などで軽食をご利用頂けます。
【23日の昼食】 宿泊参加者、当日参加者共に有料にて提供致します。
昼食ブッフェチケット：2,500円（数量限定）／お弁当販売：1,000円程度（調整中）
【前泊・後泊】 夕食（ブッフェ形式）と朝食が付きます。
【オプショナルツアー】 昼食をご用意致します。

お支払い方法

お振込先　ゆうちょ銀行
ゆうちょから　18210-39714131
他行より　（店名）八二八店（店番）828（普通預金）3971413
口座名義　エフコン実行委員会　会計　ワタナベヤエコ

クレジットカード、コンビニ払い、Pay-easy決済の場合
公式ウェブサイトからお申し込み下さい。

キャンセル、申込内容の変更について

事務局までメール等にてご連絡ください。➡ sffcon@gmail.com
ご返金処理等に関しては、個別に御案内致します。

磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」への道

関東と関西を起点とした会場までの主なルートです。
費用に関しては、購入時期や旅行会社等により異なります。
また、移動時間は目安です。

東京発 from TOKYO

新幹線　約2時間　8,780円

東京駅 →（東北新幹線 約1時間20分）→ 郡山駅（乗り換え）→（磐越西線快速 約14分）→ 磐梯熱海駅 →（送迎バス タクシー 約8分）→ 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

自家用車　約2時間40分　通常5,590円/ETC3,910円

浦和IC →（浦和IC（東北道）➡郡山JCT（磐梯道）➡磐梯熱海IC出口 約2時間半）→ 磐梯熱海IC →（一般道 約10分）→ 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

大阪発 from OSAKA

新幹線　約5時間　約21,500円

新大阪駅 →（東海道新幹線 約2時間半）→ 東京駅（乗り換え）→（東北新幹線 約1時間20分）→ 郡山駅（乗り換え）→（磐越西線快速 約14分）→ 磐梯熱海駅 →（送迎バス タクシー 約8分）→ 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

夜行バス　約10~12時間　約8,000~16,000円

大阪市内 →（各社 約10～12時間）→ 郡山駅 → 磐梯熱海駅 →（送迎バス タクシー 約8分）→ 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

航空機　【リムジンバス】約3時間　約8,500~16,000円
【レンタカー】約2時間半~3時間
約6,500~14,500円+レンタカー代

伊丹空港 ITM →（ANA/IBEX 約1時間5分）→ 福島空港 FKS →（リムジンバス 約40分）→ 郡山駅 → 磐梯熱海駅 →（送迎バス タクシー 約8分）→ 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

伊丹空港 ITM →（ANA/IBEX 約1時間5分）→ 福島空港 FKS →（レンタカー（東北自動車道経由） 約45分）→ 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

自家用車　約8時間　通常16,620円/ETC11,420円

吹田IC →（吹田IC（名神）➡米原JCT（北陸自動車道）➡長岡JCT➡新潟中央JCT（磐梯自動車道）➡磐梯熱海IC出口 約8時間）→ 磐梯熱海IC →（一般道 約10分）→ 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」
〒963-1309 福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60
http://www.hotelhananoyu.jp/

スタッフ会議

東京、大阪にてスタッフ会議を行っています。
開催日時、会場などは、公式サイト、ツイッター等で告知します。
事前連絡、申し込みなどは不要ですので、
参加希望の方は会場まで直接おいで下さい。

現在、感染症対策のためZOOMなどのオンライン会議ツールも活用していますので、
会場に来られない方も参加可能です。

奥付

SNSでは随時情報を告知していきます。
なのでフォローやイイネをお願いします。
ここでの質問などにもお答えしていきます。
なるべく迅速に！　頑張ります。

twitter
https://twitter.com/SF_FCON

Facebook
「F-CON」イベントページ

［企画・発行］　〒963-7725
福島県田村郡三春町大字鷹巣字瀬山213番地
株式会社福島ガイナ内
第59回日本SF大会「F-CON」実行委員会
［問い合わせメールアドレス］　sffcon@gmail.com　　［公式サイト］　https://sf-fcon.com
［公式通販サイト］　https://fcon.theshop.jp